

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



(43) 国際公開日
2006 年 12 月 7 日 (07.12.2006)

PCT

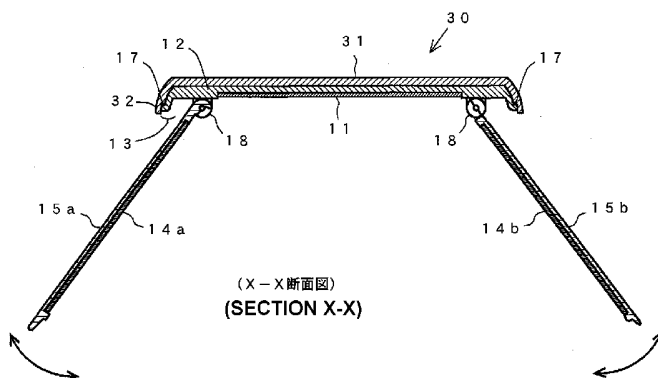
(10) 国際公開番号
WO 2006/129557 A1

- (51) 国際特許分類:
A45D 33/00 (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2006/310521
- (22) 国際出願日: 2006 年 5 月 26 日 (26.05.2006)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願2005-159979 2005 年 5 月 31 日 (31.05.2005) JP
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 花王株式会社 (KAO CORPORATION) [JP/JP]; 〒1038210 東京都中央区日本橋茅場町 1 丁目 1 4 番 1 0 号 Tokyo (JP). 株式会社吉野工業所 (YOSHINO KOGYOSHO CO., LTD.) [JP/JP]; 〒1368531 東京都江東区大島 3 - 2 - 6 Tokyo (JP).
- (72) 発明者; および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 田島 久美子 (TAJIMA, Kumiko) [JP/JP]; 〒1318501 東京都墨田区文花 2 - 1 - 3 花王株式会社内 Tokyo (JP). 野口 徳司 (NOGUCHI, Tokuji) [JP/JP]; 〒1318501 東京都墨田区文花 2 - 1 - 3 花王株式会社研究所内 Tokyo (JP). 麻生 雅晴 (ASOU, Masaharu) [JP/JP]; 〒1318501 東京都墨田区文花 2 - 1 - 3 花王株式会社研究所内 Tokyo (JP). 鈴木 一男 (SUZUKI, Kazuo) [JP/JP]; 〒1368531 東京都江東区大島 3 - 2 - 6 株式会社吉野工業所内 Tokyo (JP).
- (74) 代理人: 特許業務法人 田治米国際特許事務所 (TAJIME & TAJIME); 〒2140034 神奈川県川崎市多摩区三田 1 - 2 6 - 2 8 ニューウェル生田ビル 2 0 1 号室 Kanagawa (JP).

/ 続葉有 /

(54) Title: COMPACT CONTAINER

(54) 発明の名称: コンパクト容器



(57) Abstract: A compact container with a polygon mirror, wherein a center mirror is firmly fitted to a cover body. The compact container comprises a container body (20) storing a cosmetic paint (A), the cover body (30) hinged to the container body (20), and the polygon mirror (a triple mirror (10)) formed of the center mirror and at least one side mirror. The center mirror (11) and the side mirrors (14a) and (14b) are fitted to a center mirror frame body (12) and side mirror frame bodies (15a) and (15b). The side mirror frame bodies (15a) and (15b) are fitted to both the right and left end parts or the one end part of the center mirror frame body (12) through a hinge (18). The cover body (30) comprises a cover outer side member (31) and the center mirror frame body (12) joined to the inside of the cover outer side member (31). Joined parts (17) between the cover outer side member (31) and the center mirror frame body (12) are positioned at the outer peripheral edge parts (13) of the center mirror frame body (12).

(57) 要約: 多面鏡付コンパクト容器において、中央鏡を蓋体に取り付ける。化粧料 A を収容する容器本体 20、容器本体 20 と蝶着している蓋体 30、及び中央鏡と少なくとも一つの袖鏡からなる多面鏡 (三面鏡 10) を備えたコンパクト容器であって、中央鏡 11 及び袖鏡 14a、14b がそれぞれ中央鏡用枠体 12、袖鏡用枠体 15a、15b に取り付けられている。

/ 続葉有 /



- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, LY, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY,

KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:
— 国際調査報告書

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

袖鏡用枠体 15 a、15 b は中央鏡用枠体 12 の左右両端部又は片端部に蝶番 18 を介して取り付けられ、蓋体 30 は、蓋外側部材 31 と該蓋外側部材 31 の内側に接合された中央鏡用枠体 12 からなっている。蓋外側部材 31 と中央鏡用枠体 12 との接合部 17 は、中央鏡用枠体 12 の外周縁部 13 に位置している。

明 細 書

コンパクト容器

技術分野

- [0001] 本発明は、ファンデーション、チーク、アイシャドウ等の化粧料を収容する鏡付コンパクト容器に関する。

背景技術

- [0002] ファンデーション、チーク、アイシャドウ等の化粧料を収容するコンパクト容器として、化粧料を収容する容器本体と、容器本体に開閉自在に蝶着された蓋体からなり、蓋体の内側に平面鏡を貼着したものが普及している。また、このようなコンパクト容器であって、中央鏡と袖鏡からなる三面鏡を蓋体の内側に取り付けられたものが提案されている(特許文献1、特許文献2)。

- [0003] 特許文献1:特開2000-175738号公報

特許文献2:登録実用新案第3020899号公報

発明の開示

発明が解決しようとする課題

- [0004] しかしながら、従来の三面鏡付のコンパクト容器においては、袖鏡を大きく開こうとする力が過度に加わると中央鏡が蓋体から浮き上がる場合があった。

- [0005] これに対して、本発明は、中央鏡と一つ以上の袖鏡を備えた多面鏡付のコンパクト容器において、中央鏡が蓋体に強固に取り付けられたものを提供することを目的とする。

課題を解決するための手段

- [0006] 本発明者は、中央鏡を中央鏡用枠体に貼着し、その中央鏡用枠体を蓋外側部材と接合して蓋体を形成するにあたり、中央鏡用枠体と蓋外側部材との接合部を特定の部位に設けると、外力に対する中央鏡の取付強度が著しく向上することを見出した。

- [0007] 即ち、本発明は、化粧料を収容する容器本体、容器本体と蝶着している蓋体、及び中央鏡と少なくとも一つの袖鏡からなる多面鏡を備えたコンパクト容器であって、

中央鏡及び袖鏡がそれぞれ中央鏡用枠体、袖鏡用枠体に取り付けられ、袖鏡用枠体が中央鏡用枠体の左右両端部又は片端部に蝶番を介して取付けられ、蓋体が、蓋外側部材と該蓋外側部材の内側に接合された中央鏡用枠体からなり、蓋外側部材と中央鏡用枠体との接合部が、中央鏡枠体の外周縁部に位置しているコンパクト容器を提供する。

[0008] また、本発明のコンパクト容器を製造する第1の方法として、化粧料を収容する容器本体、容器本体と蝶着している蓋体、及び中央鏡と少なくとも一つの袖鏡からなる多面鏡を備え、蓋体が、蓋外側部材と中央鏡用枠体からなるコンパクト容器の製造方法であって、

中央鏡、袖鏡を、それぞれ中央鏡用枠体、袖鏡用枠体に貼着し、袖鏡用枠体を中央鏡用枠体の左右両端部又は片端部に蝶着し、次いで、中央鏡用枠体と蓋外側部材とを、少なくとも中央鏡枠体の外周縁部で接合し、

蓋外側部材と容器本体とを蝶着するコンパクト容器の製造方法を提供する。

[0009] 本発明のコンパクト容器を製造する第2の方法として、化粧料を収容する容器本体、容器本体と蝶着している蓋体、及び中央鏡と少なくとも一つの袖鏡からなる多面鏡を備え、蓋体が、蓋外側部材と中央鏡用枠体からなるコンパクト容器の製造方法であって、

中央鏡、袖鏡を、それぞれ中央鏡用枠体、袖鏡用枠体に貼着し、袖鏡用枠体を中央鏡用枠体の左右両端部又は片端部に蝶着し、中央鏡用枠体と容器本体とを蝶着し、

次いで、中央鏡用枠体に蓋外側部材を被せ、これらを少なくとも中央鏡枠体の外周縁部で接合するコンパクト容器の製造方法、あるいは、袖鏡用枠体を蝶着した中央鏡用枠体に蓋外側部材を被せ、これらを少なくとも中央鏡用枠体の外周縁部で接合し、

中央鏡用枠体と容器本体とを蝶着するコンパクト容器の製造方法を提供する。

発明の効果

[0010] 本発明のコンパクト容器によれば、蓋外側部材と中央鏡用枠体とを接合して蓋体を

形成するにあたり、蓋外側部材と中央鏡用枠体との接合部が、中央鏡用枠体の外周縁部に位置している。一方、袖鏡を過度に開こうとする力が加えられると、袖鏡用枠体が中央鏡用枠体の外周縁部に当たり、そこを押圧する。この押圧力は、中央鏡用枠体の外周縁部に設けられている蓋外側部材と中央鏡用枠体との接合部を押圧する方向に作用する。

[0011] また、蓋体を閉じた状態でコンパクト容器を落とし、コンパクト容器にその厚み方向の衝撃力が加わった場合にも、この衝撃力は、中央鏡用枠体の外周縁部に設けられている蓋外側部材と中央鏡用枠体との接合部を押圧する方向に作用する。

[0012] したがって、本発明のコンパクト容器は、袖鏡を過度に開こうとする力や、コンパクト容器を閉じた状態で加わる外力に対して、中央鏡の取付強度が向上したものとなる。

[0013] また、本発明のコンパクト容器を製造する第1の方法によれば、容器本体と蓋外側部材とを蝶着するので、中央鏡用枠体の歪みを低減させることができ、強度的に優れたコンパクト容器を得ることができ、第2の方法によれば、容器本体と中央鏡用枠体とを蝶着するので、蓋外側部材を平坦な構造にできることにより、蓋外側部材に成型収縮によるヒケが発生することを防止し、蓋外側部材の外観の美しさを向上させることができる。

図面の簡単な説明

[0014] [図1A]図1Aは本発明のコンパクト容器において、三面鏡を開いた状態の斜視図である。

[図1B]図1Bは図1Aのコンパクト容器のX-X断面図である。

[図2]図2は袖鏡を大きく開いた状態の断面図である。

[図3]図3は蓋体を閉じた状態の断面図である。

[図4]図4は袖鏡を大きく開いた状態の接合部付近の拡大断面図である。

[図5]図5はコンパクト容器の組立部品の説明図である。

[図6]図6はコンパクト容器の組立部品の説明図である。

符号の説明

[0015] 1A、1B コンパクト容器

10 三面鏡

- 11 中央鏡
- 12 中央鏡用枠体
- 13 中央鏡用枠体の外周縁部
- 14a、14b 袖鏡
- 15a、15b 袖鏡用枠体
- 17 接合部
- 18 蝶番
- 18P、18Qa、18Qb 蝶番部材
- 20 容器本体
- 30 蓋体
- 31 蓋外側部材
- 32 蓋外側部材の外周縁部
- 33 蝶番部材
- 34 フック
- A 化粧品
- F1、F2 力

発明を実施するための最良の形態

- [0016] 以下、図面を参照しつつ、本発明を詳細に説明する。なお、各図中、同一符号は同一又は同等の構成要素を表している。
- [0017] 図1Aは、多面鏡として三面鏡を備えた本発明の一実施例のコンパクト容器1Aであって、三面鏡10を開いた状態の斜視図であり、図1BはそのX-X断面図である。
- [0018] このコンパクト容器1Aは、三面鏡10、ファンデーション、チーク、アイシャドウ等の化粧品Aを収容する容器本体20、及び容器本体20の開口面を開閉自在に覆う蓋体30からなり、三面鏡10は中央鏡11と、中央鏡11の左右両側に蝶番18を介して取り付けられた一対の袖鏡14a、14bからなる。
- [0019] 蓋体30は、蓋外側部材31に中央鏡用枠体12を接合したものからなり、この中央鏡用枠体12に中央鏡11が接着剤、粘着剤等により貼着されている。
- [0020] 一対の袖鏡14a、14bは、袖鏡用枠体15a、15bに接着剤、粘着剤等により貼着さ

れ、袖鏡用杵体15a、15bが中央鏡用杵体12の左右両端部に蝶着されている。

[0021] 蓋体30は、中央鏡11の下端側で容器本体20と蝶着している。容器本体20には、化粧料Aの他、必要に応じてスポンジ21、はけ、ブラシ(図示せず)等の化粧用具が収容されるスペースが設けられる。

[0022] このコンパクト容器1Aでは、蓋体30を形成する蓋外側部材31と中央鏡用杵体12との接合が、図2に示すように、中央鏡用杵体12において、袖鏡用杵体15a、15bを中央鏡用杵体12に取り付ける蝶番18より外側の外周縁部13でなされている。なお、図2の拡大図には、一方の袖鏡用杵体15aを中央鏡用杵体12に取り付ける蝶番18近傍を示しているが、他方の袖鏡用杵体15bを中央鏡用杵体12に取り付ける蝶番18近傍も同様に構成されている。

[0023] 本発明において、中央鏡用杵体12の外周縁部13とは、中央鏡用杵体12の中央部の平坦面に対して起立ないし突出している周壁部をいう。蓋外側部材31と中央鏡用杵体12との接合位置としては、不要な部分が溶着されたり、中央鏡11が破損したりするのを防止するため、外周縁部13の中でも、その先端面に近い部位が好ましい。

[0024] 蓋外側部材31と中央鏡用杵体12との接合は、中央鏡用杵体12の外周縁部13に設けられた超音波溶着用リブ16を用いて、中央鏡用杵体12の外周縁部13と蓋外側部材31の外周縁部32とを超音波溶着することによりなされている。

[0025] このコンパクト容器1Aにおいて、蓋外側部材31と中央鏡用杵体12との接合部17は、より詳細には、図2に示すように、中央鏡用杵体12の外周縁部13の内側縁13aより外側に位置する。そして、図3に示すように、蓋体30を閉じた状態では、接合部17は容器本体20の外周縁部23上に位置する。また、この接合部17では、蓋外側部材31と中央鏡用杵体12との接合面が中央鏡11の鏡面に対して略平行となっている。

[0026] したがって、図2に示すように、このコンパクト容器1Aに袖鏡14aを大きく開く方向の力F1が加わると、まず、袖鏡用杵体15aは中央鏡用杵体12の外周縁部13の内側縁13aに当接し、袖鏡用杵体15aが中央鏡用杵体12の外周縁部13を押圧する。この押圧力は蓋外側部材31と中央鏡用杵体12との接合を強める方向に働く。特に、

蓋外側部材31と中央鏡用枠体12との接合面が中央鏡11の鏡面に対して略平行となっているので、力F1は、接合を強める方向に効果的に作用する。

[0027] これに対し、蓋外側部材31と中央鏡用枠体12との接合部を、例えば図2のP点のように、中央鏡用枠体12の外周縁部13より内側に形成すると、袖鏡14aを過度に開く方向の力F1が加えられた場合に、P点にある接合部には、袖鏡用枠体15aが中央鏡用枠体12に当接する部位(即ち、中央鏡用枠体12の外周部13の内側縁13a)が支点となり、てこの原理により、接合を剥離させる方向の力が働く。よって、接合部が破損し、中央鏡11が蓋体30から外れやすくなる。

[0028] また、このコンパクト容器1Aによれば、図3に示すように、蓋体30を閉じた状態でコンパクト容器1Aを落とし、コンパクト容器1Aに厚み方向の衝撃力F2が加わった場合に、この衝撃力F2は、蓋体30と中央鏡用枠体12との接合部17を押圧する方向に作用する。したがって、落下等による衝撃力F2に対しても、このコンパクト容器1Aは、中央鏡11が強固に取り付けられたものとなる。

[0029] 図4は、蓋外側部材31と中央鏡用枠体12との接合部17の変形態様を示す、接合部17付近の拡大断面図である。同図の態様では、蓋外側部材31と中央鏡用枠体12との接合面が開ききった袖鏡14aの鏡面に対して略平行となっている。このように接合面を形成すると、袖鏡14aを大きく開く方向の力F1を、接合部17の接合を強める方向の力として、より効果的に利用することができる。

[0030] なお、本発明において、中央鏡用枠体12の外周縁部13における蓋外側部材31と中央鏡用枠体12との接合部17は、超音波溶着用リブを用いた超音波溶着の他、熱溶着、接着剤による接着等により形成してもよい。

[0031] また、蓋外側部材31と中央鏡用枠体12とを接合するため、上述のように中央鏡用枠体12の外周縁部13に接合部17を形成するのに加えて、必要に応じて、蓋外側部材31の中央部と中央鏡用枠体12の背面中央部とを、両面テープ、接着剤、粘着剤等により貼着してもよい。

[0032] 図5は、上述のコンパクト容器1Aの組立部品の説明図である。図示したように、このコンパクト容器1Aは、蓋外側部材31、中央鏡11が貼着された中央鏡用枠体12、袖鏡14a、14bが貼着された袖鏡用枠体15a、15b、及び容器本体20から組み立てら

れる。このうち、蓋外側部材31には、容器本体20の蝶番部材と掛合する蝶番部材33が設けられており、中央鏡用枠体12の中央鏡11の左右両端部には、袖鏡用枠体15a、15bの蝶番部材18Qa、18Qbと掛合して蝶番18を構成する蝶番部材18Pが設けられている。また、蓋外側部材31には、容器本体20と掛合するフック34も設けられている。

[0033] 組立時には、まず、中央鏡11及び袖鏡14a、14bをそれぞれ中央鏡用枠体12、袖鏡用枠体15a、15bに取り付け、次いで、中央鏡用枠体12の蝶番部材18Pと袖鏡用枠体15a、15bの蝶番部材18Qa、18Qbとをピン(図示せず)で掛合させることによりこれらを蝶着し、中央鏡用枠体12と蓋外側部材31とを、少なくとも中央鏡用枠体12の外周縁部13で接合し、また必要により中央鏡用枠体12の背面中央部で中央鏡用枠体12と蓋外側部材31とを貼着して蓋体30を形成し、さらに蓋体30をなす蓋外側部材31と容器本体20とを蝶着する。(第1の方法)

[0034] このように容器本体20と蝶着する蝶番部材33を蓋外側部材31に設けることにより、中央鏡用枠体12の歪みを低減させることができ、強度的に優れたコンパクト容器を得ることができる。

[0035] 図6は、図5と異なる態様のコンパクト容器1Bの組立部品の説明図である。このコンパクト容器1Bでは、中央鏡用枠体12に、袖鏡用枠体15a、15bの蝶番部材18Qa、18Qbと掛合する蝶番部材18Pに加えて、容器本体20の蝶番部材と掛合する蝶番部材33が形成されている。また、中央鏡用枠体12には、容器本体20と掛合するフック34も形成されている。したがって、蓋外側部材31は突起の無い天板的な構成となっている。

[0036] 組立時には、まず、中央鏡11及び袖鏡14a、14bをそれぞれ中央鏡用枠体12、袖鏡用枠体15a、15bに取り付け、次いで、中央鏡用枠体12と袖鏡用枠体15a、15bを蝶着し、さらに中央鏡用枠体12に形成された蝶着部材と容器本体20を蝶着し、それに天板状の蓋外側部材31を被せ、中央鏡用枠体12と蓋外側部材31とを少なくとも中央鏡用枠体12の外周縁部13で接合し、また必要により中央鏡用枠体12の背面中央部で中央鏡用枠体12と蓋外側部材31とを貼着する。あるいは、袖鏡用枠体15a、15bを蝶着した中央鏡用枠体12に天板状の蓋外側部材31を被せ、中央鏡用枠

体12と蓋外側部材31とを少なくとも中央鏡用枠体12の外周縁部13で接合した後、中央鏡用枠体12に形成された蝶番部材33と容器本体20を蝶着する。(第2の方法)

[0037] このように、中央鏡用枠体12に蝶番部材18P、33を集中させ、フック34を形成することにより、蓋外側部材31を平坦な構造にできるので、蓋外側部材31に成型収縮によるヒケが発生することを防止し、蓋外側部材31の外観の美しさを向上させることができる。さらに、蓋外側部材31は、蝶番部材33やフック34を形成しない分、デザイン上の制約がなくなり、所望のデザインに構成することが容易となる。

[0038] 本発明は、この他種々の態様をとることができる。たとえば、三面鏡としては、中央鏡と左右の袖鏡の幅がほぼ等しく、これらを畳んだ場合に鏡が三重に重なり合うものの他、袖鏡の幅が中央鏡の略半分で、三面鏡を折り畳んだ場合に鏡が二重に重なりあい、これを開く場合に袖鏡を観音開きするタイプのものであってもよい。

[0039] また、本発明のコンパクト容器は、中央鏡用枠体の左右両端部に袖鏡用枠体を有する三面鏡に限らず、中央鏡の片端部に袖鏡を有する二面鏡を備えたものにするなど、多面鏡を構成する鏡の数に制限はない。

産業上の利用可能性

[0040] 本発明のコンパクト容器は、ファンデーション、チーク、アイシャドウ等の化粧料を収容する容器として有用である。

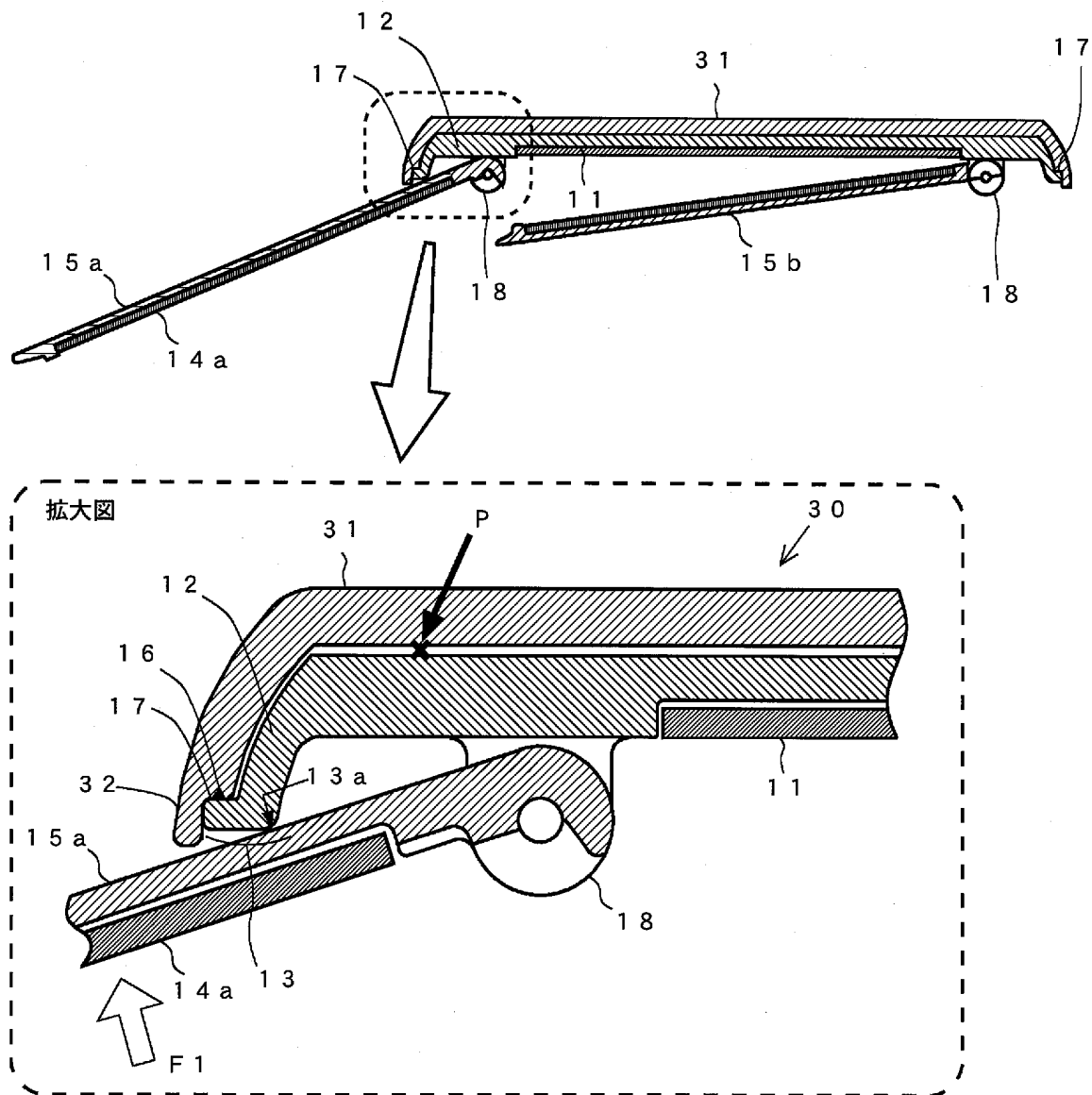
請求の範囲

- [1] 化粧品を収容する容器本体、容器本体と蝶着している蓋体、及び中央鏡と少なくとも一つの袖鏡からなる多面鏡を備えたコンパクト容器であって、中央鏡及び袖鏡がそれぞれ中央鏡用枠体、袖鏡用枠体に取り付けられ、袖鏡用枠体が中央鏡用枠体の左右両端部又は片端部に蝶番を介して取り付けられ、
- 蓋体が、蓋外側部材と該蓋外側部材の内側に接合された中央鏡用枠体からなり、蓋外側部材と中央鏡用枠体との接合部が、中央鏡枠体の外周縁部に位置しているコンパクト容器。
- [2] 蓋外側部材と中央鏡用枠体との接合部が、超音波溶着により形成されている請求項1記載のコンパクト容器。
- [3] 蓋外側部材と中央鏡用枠体との接合部において、その接合面が中央鏡の鏡面に対して略平行である請求項1又は2記載のコンパクト容器。
- [4] 蓋外側部材と中央鏡用枠体との接合部において、その接合面が開ききった袖鏡の鏡面に対して略平行である請求項1又は2記載のコンパクト容器。
- [5] 蓋体を閉じた場合に、蓋外側部材と中央鏡用枠体との接合部が、容器本体の外周縁部上に位置する請求項1～4のいずれかに記載のコンパクト容器。
- [6] 容器本体の蝶番部材と掛合する蝶番部材が蓋外側部材に設けられている請求項1～5のいずれかに記載のコンパクト容器。
- [7] 容器本体の蝶番部材と掛合する蝶番部材が中央鏡用枠体に設けられている請求項1～5のいずれかに記載のコンパクト容器。
- [8] 化粧品を収容する容器本体、容器本体と蝶着している蓋体、及び中央鏡と少なくとも一つの袖鏡からなる多面鏡を備え、蓋体が、蓋外側部材と中央鏡用枠体からなるコンパクト容器の製造方法であって、
- 中央鏡、袖鏡を、それぞれ中央鏡用枠体、袖鏡用枠体に貼着し、袖鏡用枠体を中央鏡用枠体の左右両端部又は片端部に蝶着し、
- 次いで、中央鏡用枠体と蓋外側部材とを、少なくとも中央鏡枠体の外周縁部で接合し、

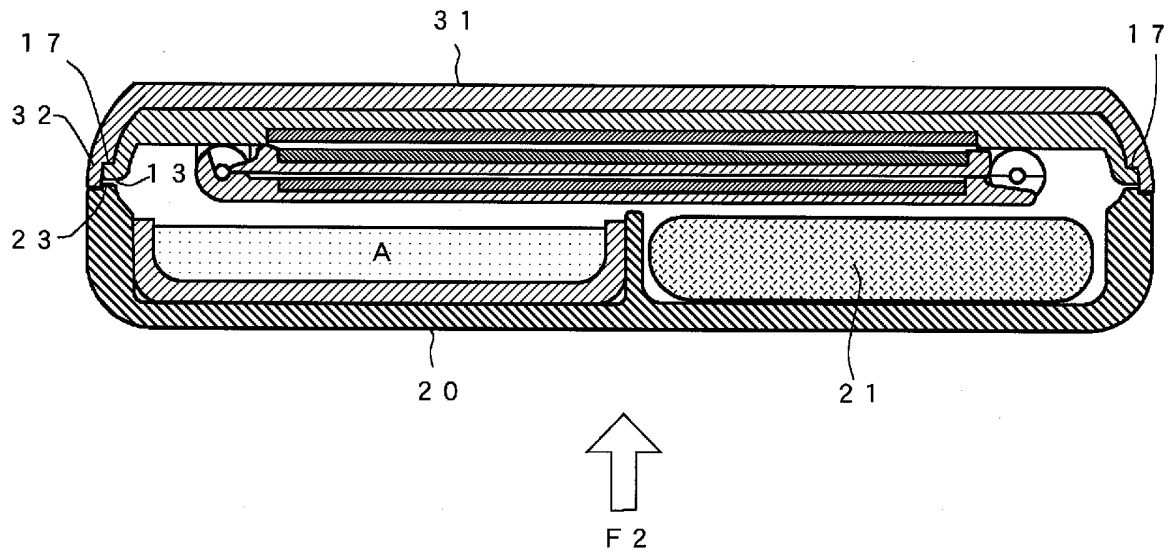
蓋外側部材と容器本体とを蝶着するコンパクト容器の製造方法。

- [9] 化粧品を収容する容器本体、容器本体と蝶着している蓋体、及び中央鏡と少なくとも一つの袖鏡からなる多面鏡を備え、蓋体が、蓋外側部材と中央鏡用枠体からなるコンパクト容器の製造方法であって、
- 中央鏡、袖鏡を、それぞれ中央鏡用枠体、袖鏡用枠体に貼着し、
- 袖鏡用枠体を中央鏡用枠体の左右両端部又は片端部に蝶着し、
- 中央鏡用枠体と容器本体とを蝶着し、
- 次いで、中央鏡用枠体に蓋外側部材を被せ、これらを少なくとも中央鏡枠体の外周縁部で接合するコンパクト容器の製造方法。
- [10] 化粧品を収容する容器本体、容器本体と蝶着している蓋体、及び中央鏡と少なくとも一つの袖鏡からなる多面鏡を備え、蓋体が、蓋外側部材と中央鏡用枠体からなるコンパクト容器の製造方法であって、
- 中央鏡、袖鏡を、それぞれ中央鏡用枠体、袖鏡用枠体に貼着し、
- 袖鏡用枠体を中央鏡用枠体の左右両端部又は片端部に蝶着し、
- 次いで、中央鏡用枠体に蓋外側部材を被せ、これらを少なくとも中央鏡枠体の外周縁部で接合し、
- 中央鏡用枠体と容器本体とを蝶着するコンパクト容器の製造方法。

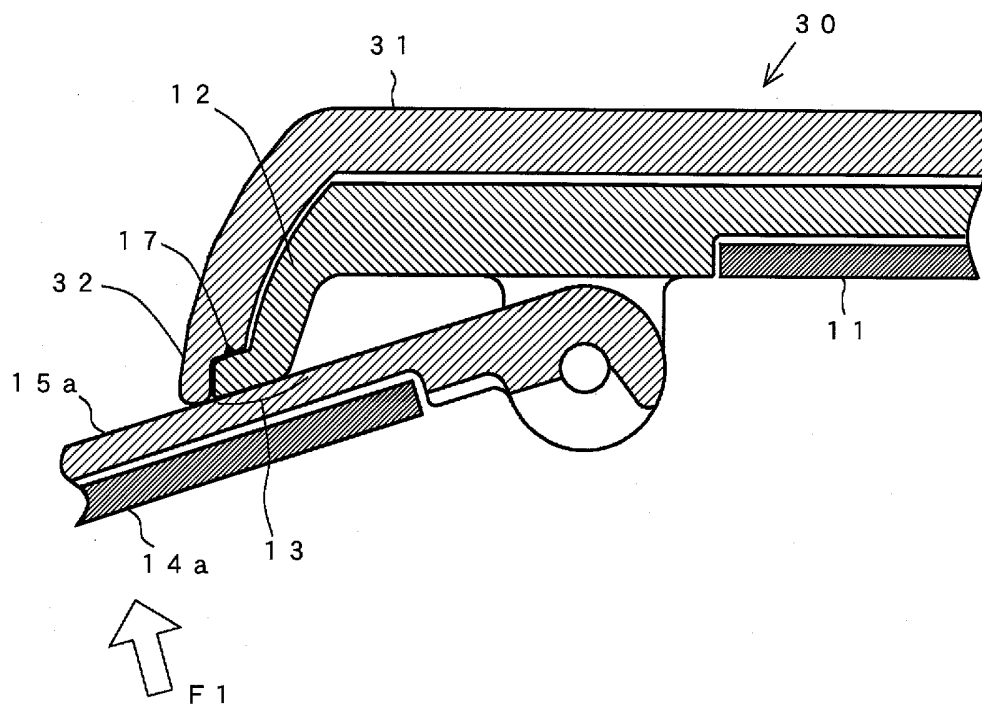
[図2]



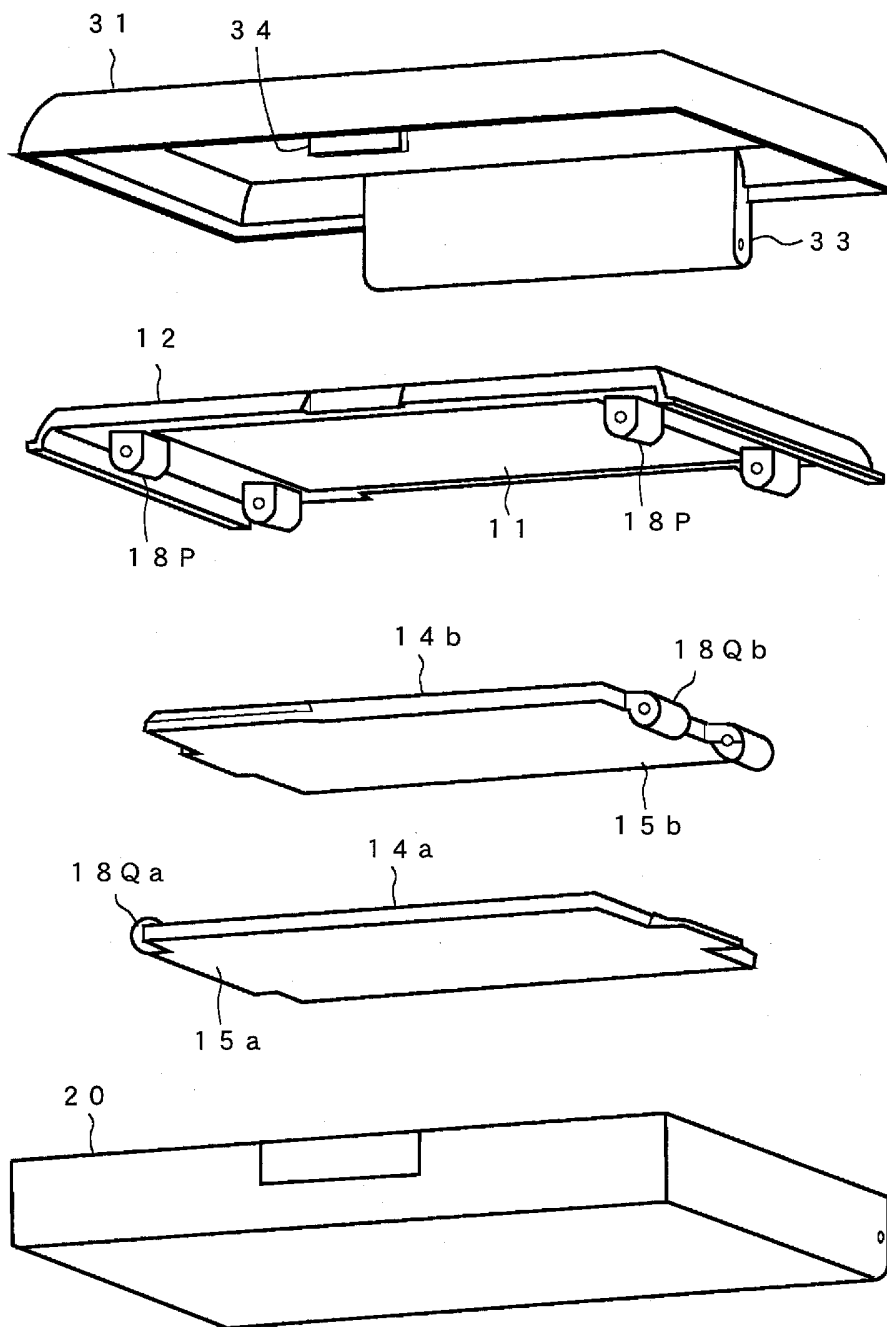
[図3]



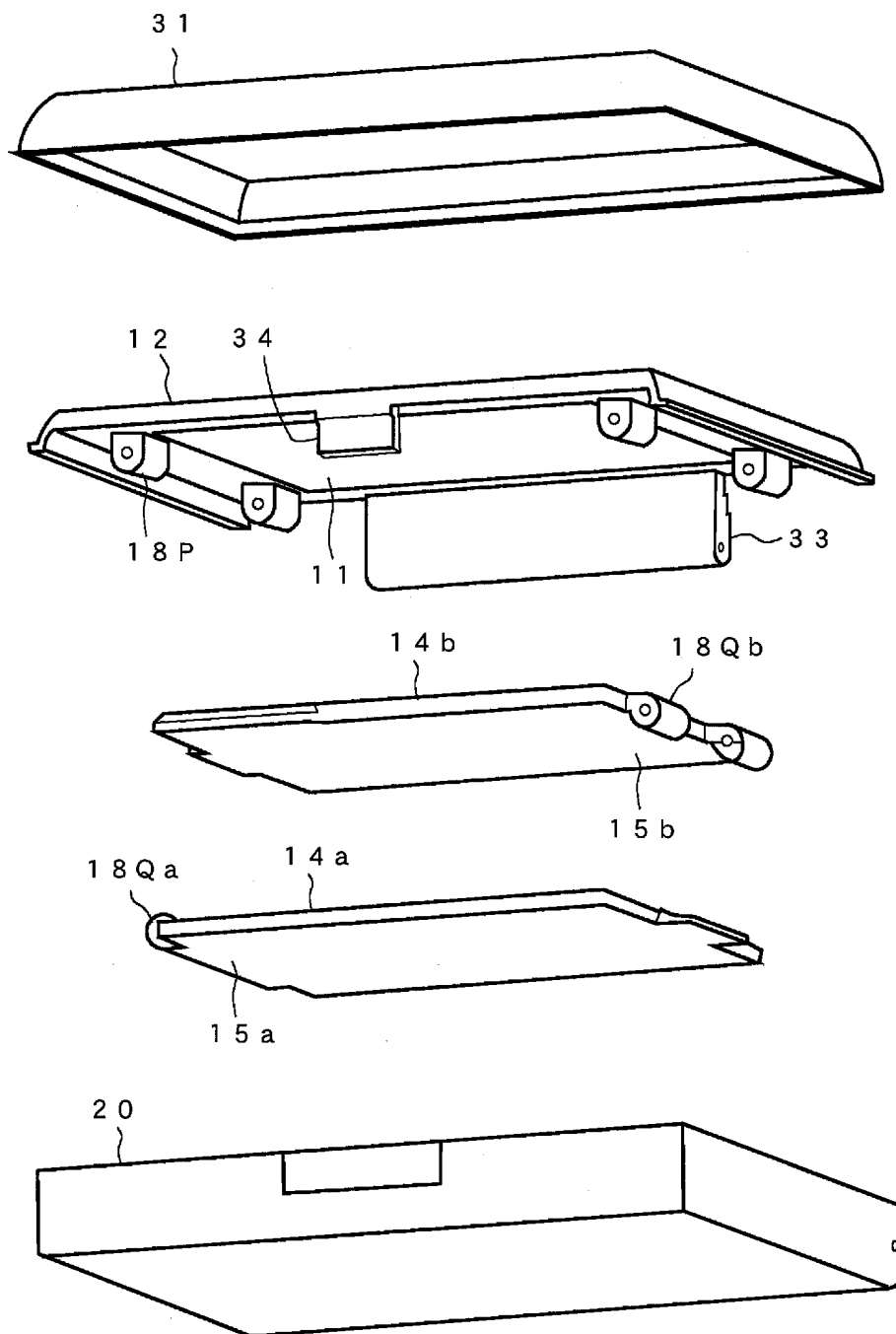
[図4]



[図5]

1A

[図6]

1 B

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2006/310521

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

A45D33/00(2006.01) i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

A45D33/00, A45D42/18

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2006
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2006	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2006

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	GB 2363712 A (Goody Products Inc.), 09 January, 2002 (09.01.02) (Family: none)	1-10
A	US 6012789 A (Lai), 11 January, 2000 (11.01.00), (Family: none)	1-10
A	JP 2002-142855 A (Yoshida Kogyo Kabushiki Kaisha), 21 May, 2002 (21.05.02), (Family: none)	1-10
A	JP 9-201225 A (Takeuchi Kogyo Kabushiki Kaisha), 05 August, 1997 (05.08.97), (Family: none)	1-10

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
 "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date
 "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
 "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
 "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
 "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
 "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
 "&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
24 August, 2006 (24.08.06)

Date of mailing of the international search report
05 September, 2006 (05.09.06)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（IPC）） Int.Cl. A45D33/00(2006.01)i			
B. 調査を行った分野 調査を行った最小限資料（国際特許分類（IPC）） Int.Cl. A45D33/00, A45D42/18			
最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの 日本国実用新案公報 日本国公開実用新案公報 日本国実用新案登録公報 日本国登録実用新案公報 1922-1996年 1971-2006年 1996-2006年 1994-2006年			
国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）			
C. 関連すると認められる文献			
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号	
A	GB 2363712 A (Goody Products Inc) 2002.01.09 (ファミリーなし)	1-10	
A	US 6012789 A (Lai) 2000.01.11 (ファミリーなし)	1-10	
A	JP 2002-142855 A (吉田工業株式会社) 2002.05.21 (ファミリーなし)	1-10	
A	JP 9-201225 A (竹内工業株式会社) 1997.08.05 (ファミリーなし)	1-10	
☐ C欄の続きにも文献が列挙されている。 ☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。			
* 引用文献のカテゴリー 「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの 「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す） 「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願日の後に公表された文献 「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの 「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの 「&」 同一パテントファミリー文献			
国際調査を完了した日 24.08.2006		国際調査報告の発送日 05.09.2006	
国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁（ISA/JP） 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号		特許庁審査官（権限のある職員） 鈴木 誠	3R 2330
		電話番号 03-3581-1101 内線 3386	